



第133号
野毛山幼稚園
横浜市西区老松町30
TEL045-231-0150

一人ひとりのクリスマスマス クリスマスの本当の意味

野毛山幼稚園園長
野毛山キリストの教会牧師 奈良昌人

今年のクリスマスマス親子工作は新しく有川通子先生のご指導により行われ、それぞれの個性的なクリスマスマスハウスができて上がりました。みんな違います。実はクリスマス由来の出来事も一人ひとり違います。ルカによる福音書19章の「ザアカイの物語」を読んでみましょう。

ザアカイは徴税人のかしらでした。都エルサレムにほど近いエリコの町に暮らしていましたが、町の人々からは大変嫌われていました。ローマに納めるための税金を集めるだけでなく、本来の納税額以上の税金を取り立て、私腹を肥やしていると思われていて、罪人とされていたのです。金持ちでしたが、友だちもなく孤独な人でした。ある日、エリコの町に、神の子と言われ、病人を癒し、足の不自由な人を歩けるようにし、そして嫌われ者の徴税人とさえ食事を共にしたと噂されているイエスさまがやってきました。

イエスさまの行く道を大勢の群衆が取り囲み、ザアカイもその中にいました。背の低いザアカイはなかなか見ることができませんでした。群衆はわざと背伸びをして嫌がらせをします。そこでザアカイは先回りをして、いちじく桑の木に登りました。人々は彼をあざ笑ったでしょうが、彼はそんなことは気にしません。お金だけが頼りと信じていたザアカイが、何故か異常にイエスさまを見たがったのです。ところが、ザアカイの待つ木の下を通ったイエスさまは上を見上げて声をかけられました。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい」。イエスさまはザアカイの名前を知っておられ、そして声をかけられました。「ぜひあなたの家に泊まりたい」とは、「わたしはあなたの家に泊まることになっっている」ということです。ザアカイは急いで降りて来て、イエスさまを迎えました。それを見た人びとは、「あの人は罪深い男のところに行って宿をとつた」といぶかりました。ザアカイは新しい生き方を主の前に誓い、「財産の半分を貧しい人々に施します」「また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します」と言いました。それは彼が今までこだわってきた財産への執着を捨てること、そして今まで彼が見えていなかった、隣人の痛みや、隣人を愛することの大切さが見えてきたからです。主イエスとの出会いはザアカイの中に新しい心を造り出しました。この悔い改めにこそ、主イエスの喜びがあります。ザアカイの喜び以上に主イエスは喜ばれ、

「今日、救いがこの家を訪れた。人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである」と宣言されます。こうして救いが訪れました。神さまはどんなに背伸びをしても届かない天におられます。しかし、神の子はベツレヘムの馬小屋の飼い葉桶という低い場所にお生まれになりました。そして人間の最も低いところである十字架の死に渡され、人々を罪から解放されたれました。主イエスのもとに降りるとは、貧しい飼い葉桶に眠る神の御子を拝みひれ伏すことです。「ザアカイ、急いで降りて来なさい」。私たちも急いで降り、飼い葉桶に、十字架にひざまずきましょう。

「今日、救いがこの家を訪れた」。この「今日」という日は間違いなくザアカイのクリスマスマスでした。ここにクリスマスマスの本当の意味があります。イエス・キリストは失われたものを捜して救うために来られたのです。「失われたもの」とは神さまから離れて罪にある私たち全ての者のことです。主イエスは復活し、今も生きておられ、神のもとから失われた者たちを今も捜しておられます。私たち一人ひとりの名を知って呼んでおられ、救われることを望んでおられるのです。それは、「神と人と自分自身を知る」新しい心が生まれるためです。その救いが訪れる日がクリスマスマスなのです。

メリー・クリスマス!